

KOCHI ROTARY CLUB

2021
2022

SINCE 1937



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
2021-22年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3488回 2022年2月1日 2022年2月8日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。コロナの新規感染者数は高止まりですが、病院のベッド占有率が抑えられているとのことで、県のレベルは特別警戒にとどまっています。今日もお弁当持ち帰りですが、何とか例会が開催できます。



今日は、新しい仲間が2人入会されます。お一人が津野泰孝さん、道路橋をはじめ公共構造物のメンテナンス等をされているツノ工業の経営者です。お父様が中央RCに在籍されています。お二人目が森田陽介さん。霊園をはじめ石材業、観光業、ホテル、建設業等多角的に事業を展開されています。日和崎守さんが青年会議所の理事長をされたときの専務理事を務めておられます。

今日、津野さんが加入して下さったことで、高知RCで橋梁関係のメンテナンスができるメンバーがほぼ揃いました。以前、この分野の大家である右城さんから、日本にあるほとんどの橋は昭和30年代から50年代に造られたもので、あと5年ぐらいで6割近くが50年を超えて、直していかない

と使えなくなってくる危機状態を迎えているとお聞きました。高知県だけでも3,000ぐらいあって、これを直さないといけないし、移動もできないし、暮らすこともできなくなります。橋を新しく造る技術を持っている会社はたくさんありますが、直せる技術のある会社はとても少なく、ここがこれからの建設業界の課題、私たち県民にとっても大きな課題です。

我が高知RCでは、その道のエキスパートである設計の第一コンサルタツの右城さん。ドローン新技術で調査と設計ができるインフラマネジメントの坂元さん。そして、津野さんの会社は現場で修繕作業をする技術集団ということで、これからの高知の橋は高知RCで守っていける体制が整っていて、大変心強く感じています。

今日は、昨年入会のテレビ高知の藤田会員のスピーチです。藤田さんは龍馬マラソンに向けて、20キロの走り込みなど、かなりの準備をされていたようですが、残念ながら中止になり、そのうっぶんを晴らすべく、今日のスピーチを期待して、本日も Let's enjoy our 高知ロータリー



■ 本日のプログラム [2月8日]

ゲストスピーチ

高知ユナイテッドスポーツクラブ
GM 西村 昭宏氏
「高知にJリーグを」

会	長	入	交	章	二
副	会	杉	本	芙	美
幹	事	中	澤	清	一
副	幹	佐	竹	新	市
会	報	亥	角	政	春
責	任				

- **ロータリーソング** 「君が代」「奉仕の理想」
- **今週のピアノ曲** 「ラブ・ミー・テンダー」
ピアノ演奏：宮地公美子会員
- **新入会員紹介**



・津野泰孝氏挨拶

ご紹介いただいたとおり孫が3人います。「じいじ」と呼ばれて、とても嬉しく思っています。
この度は、伝統と格式のある高知RCに入会させていただき、光栄に思います。これから一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

・森田陽介氏挨拶

ご紹介いただいたように、多種多様な仕事をしていて、一体何をしている人だと思われるかもしれませんが、私は仕事もプライベートにおいても、何事もお縁がとても大事だと思っています。そのお縁によって、本日、伝統と格式のある高知RCに入会できたことを、本当に光栄に思います。そして、今後は皆さまと、どんどんお縁を広げていければと思っていますのでよろしくお願いいたします。



● **幹事報告**

- ・確定申告用紙送付の件の書類をお配りしています。ご確認ください。

● **新会員スピーチ**

私、こんな仕事をしていました
～テレビ!?自分の心で感じたことを大切に～

（株）テレビ高知 代表取締役社長 **藤田 徹也 会員**

以前、私はTBSの“ブーナ”と仲良く暮らしていましたが、テレビ高知の井上前社長から、お誘いいただき一昨层高知に戻ってきて、今はテレビ高知の“ろくろ”と仲良くしています。

TBSでは、ここ20年ぐらいは管理部門で人事畑中心、役員になってからは経営企画や経理、財務を担当してきました。変わった仕事では、海外IRでニューヨークやボストンへも行き、海外の投資家やファンドマネージャーへの対応など、放送局に入るときには想像もしなかった仕事もしていました。友人や仲間からは「役員っぽくないよね」「仮の姿じゃないの」とよく言われますが、そのとおりで、実は、私は若い頃はカメラマンでした。その後も、ドラマの撮影監督、スポーツ中継のテクニカルディレクターとして番組制作に没頭していました。今でも、ものづくりの現場が大好きです。



高校時代、勉強という文字は頭の中に全くなく、ちょっと大人びたことに憧れたり、不良っぽいことが格好良く見えたり、良くいえば好奇心旺盛な高校生でした。

大学で東京に行き、その後、東京で就職活動を始めましたが、そんなに大きな人生の目標があるわけでもなく、何か面白そう、自由そう、スーツ着なくてよさそう、女の子にもてそうといったミーハーな気持ちでTBSを受け、何とか入社できました。しかし、入ると結構地獄で、番組制作の現場は徒弟制度が厳しく、今でいうパワハラ的なことはいっぱいありました。甘い世界ではなかったのですが、私は映像の世界に目覚めて、映像で笑いと感動を伝えたいといった気持ちがフツフツと湧いてきたのが、もしかしたら人生の転機だったのかもしれませんが。22歳で、初めてやりたいことが見つかった気がしています。

しかし、会社とは不条理なもので、私がカメラマンとしてデビューしたのは、入社5年目27歳でした。現場の仕事はマニュアルがなく、ルーティーンワークも正解もないことが多いのですが、報道記者は、国や世界が大きく変わる瞬間を取材したり、そこに立ち会います。ドラマ制作では、最高



の台本や演技を見ながら撮影します。スポーツでは、日本人が金メダルを取る、トップアスリートたちが最高のパフォーマンスを競い合う、その瞬間にいます。辛い仕事も多いですが、心が揺さぶられるような喜びや幸せがありました。

今まで様々なジャンルの番組に携わってきましたので、当時の撮影や中継の写真、心に残る番組、テレビの裏側の映像がありますので、ご覧ください。

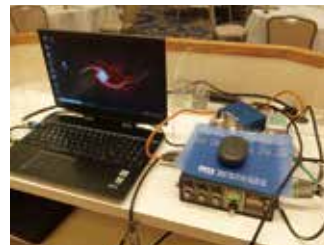
- ・あるドラマの本番のクライマックスシーンで、主演のお二人の迫真の演技に見入ってしまって、映像の責任者の私は、自分が撮らなければいけないカットを撮り忘れたという、あってはならないミスをしました。主演のお二人には二度とできませんと言われ、私は芝居に見入ってしまって撮れませんでしたと平謝り。優しい主演のお二人に許していただき、再演技をしていただきました。
- ・11年半続いた「ベストテン」という番組ではチーフカメラマン、テクニカルディレクターとして最後まで携わりました。当時はアイドルの全盛期で、私の心にあったのは被写体を好きになる、真心を込めて撮るということでした。そのせいかどうか「女性を一番きれいに撮るカメラマン」というありがたい名称をいただき、和田アキ子さんの番組に出演したことがあります。
- ・様々な番組に携わってきましたが、私が一番心に残っている番組は「新世界紀行」です。カメラ1台を担いで、約40日間、中国の山奥の桃源郷で取材しました。それまでは撮影許可が出ていなかったため、私は日本初の撮影クルーとしてカメラを回しました。

この仕事をしていなかったら「桃花源記」を書いた陶淵明も知らなかったし、中国の歴史、日本人との関係、中国人との出会い、中国の文化との触れ合いも経験することはなかったでしょうし、この撮影を通して、自分自身、成長できたと思います。

私たちは、自分自身が真実を知りたいから取材をし、真実を見つけたから伝えたい。人と会って喜びや悲しみを感じるから、その気持ちを番組にしたい。本を読んで泣けるからドラマにしたい。その人の人生に触れて共感しドキュメンタリー番組を作りたい。スポーツでの感動を視聴者に届けたい。こんな純粋な思いや動機から放送や番組が生まれます。

ですから、ネットからの情報だけに頼るのではなく、人と会い、話をし、本や新聞を読み、自分自身が笑って、泣いて、自分の心で感じるのがすごく大事だと思っています。その思いこそがテレビづくりの原点だと信じています。

テレビ高知はキー局からすると規模も小さいし、大きな番組も制作していません。しかし、地域に対する責任と役割は、キー局よりはるかに大きいものがあります。高知は、今都会ではなくなりつつある、人とのつながりを大切にす文化があります。これを私は「温かい おせっかい文化」と呼んでいます。この文化をなくさないために、コロナ禍で人の心が分断されている中、より一層、人と人、心と心のつながりを大切にすメディアでありたい。そして、高知とともに生きる企業として、地域の未来を創造していきたい。さらに、高知から世界に発信していきたい、そんな思いです。皆さま、引き続きご指導いただきますようよろしくお願いいたします。



(初めて見る本格的な機器。プロの仕事です)



◇ 例 会 変 更 ◇					
高知東RC	2月 9日	観梅夜間例会(阪)	高知南RC	2月10日	職場例会(阪)
高知中央RC	2月10日	休会(城)	高知RC	2月15日	ロータリー創立例会(三)
高知南RC	2月17日	古希・還暦等夜間例会(阪)	高知北RC	2月21日	ロータリー休日(三)
高知RC	2月22日	ロータリー休日(三)	高知西RC	2月25日	古希・還暦祝賀夜間例会(三)
※例会会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル					

ニコニコ箱 【敬称略】

- 寺田 文彦 1月24日に子どもを授かりました。男の子で名前は光希(こうき)といいます。3,060g、48.5cmです。名前の候補は夫・元康、将康、伊織。妻・陽紀、晴紀、大晟、健人など。両家の両親と夫婦の6票で決戦投票をしました。大切に育てます。神様ありがとうございます。
- 横田 英毅 私が妻に贈った誕生日プレゼントの花を手配していただきありがとうございます。
- 安藤 一臣 誕生日を祝っていただきありがとうございます。
- 入交 章二 「人の名前を言い間違えたらいかんぞ!来週ニコニコだな」1月18日定例会終了直後、関さんから愛のお叱りをいただきました。「藤田洋子(ひろこ)、森由枝(よしえ)、森本征彦(せいげん)」と言うべきところを「藤田ようこ、森征彦」と言ってしまったようです。「さん」づけなしで「関 裕司」と言った直後で興奮度が絶頂に達していたものと思われま。謹んでお詫びを申し上げます。皆さんからのご指摘、大歓迎です。都度ニコニコ会計積み上げに寄与してまいります。
- 関 裕司 あと1年で傘の下に入る年になりました。めでたくもあり、めでたくもなし!
- 森本 征彦 家内の誕生日を祝っていただきありがとうございました。お礼にニコニコします。70代最後の誕生日です。
- 高村 禎二 誕生日をお祝いしていただきありがとうございました。もうすぐ出席免除の申請ができるようになります。わくわく。
- 出口 学 誕生日と結婚記念日を祝っていただきありがとうございました。
- 安光 保二 結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。いつの間にか60年過ぎました。

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
2月 1日	(-10)92	63	13	6	84%
1月 18日	(-10)90	53	11	16	86%

● 累計額 [2月1日現在]

ニコニコ箱	562,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	97,576円	ポリオ募金	223,300円
-------	----------	--------------------------------	---------	-------	----------

■ 次週のプログラム [2月15日]

ロータリー創立例会(12:30~13:10頃)
 パスト会長スピーチ
 千頭 邦夫 会員
 「例会の、卓話のまくらは、
 ロータリー、奉仕、サービス、お酒にタタキ」

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>